

都道府県名：山梨県 氏名：奈良 明彦

地域

奈良氏が活躍されている上野原市は山梨県の最東端に位置し、平成17年に北都留郡上野原町と南都留郡秋山村が合併して誕生した市です。地域内を流れる桂川、秋山川、鶴川、仲間川及びそれらの支流によって形成された河岸段丘が住民生活の基盤をなしており、山岳・段丘・河川がつくりだす自然環境は、日照時間が長い等様々な自然の特性に恵まれています。なお、桂川・秋山川はともに相模川水系であり、神奈川県における主要な水道供給源となっています。

略歴

- 昭和62年 5月～平成17年 2月 上野原町長
- 平成17年 3月～平成21年 3月 上野原市長
- 昭和59年 8月～平成13年 8月 上野原土地改良区副理事長
- 平成13年 9月～現在 上野原土地改良区理事長

功績内容

- ・ 首長として、県営ため池等整備事業や地域用水環境整備事業を導入して上野原用水を整備し、河川からの取水が困難な農地の用水確保と防災対策に尽力された。さらに、これらの事業により水辺環境が改善された月見ヶ池は「ため池百選」に選ばれ、地域住民の憩いの場としても親しまれています。また、上流の水源地域の小水路網の整備を行い、安定した用水供給に努められた。
- ・ 土地改良区理事長として、施設の良好な管理運営に尽力されるとともに、地域の小学生を対象とした見学会や歴史資料館の整備を行うなど、用水の歴史や機能、地域における役割を伝える活動は高く評価され、全国土地改良事業団体連合会より「歴史伝承マイスター」として表彰された。



月見ヶ池の風景(ため池百選)



小学生を対象とした用水路見学会



上野原用水の概要